



「ぴかぴかになってきたね。」

今月に入り、プール開きを行いました。5歳児のみんなは、先生や友だちと協力し合い、プール掃除の活動をしました。名付けて「ふきふき大作戦です。」大きい組さんの活躍している姿を園のみんなが見学に行きました。「わあ、おにいちゃんやおねえちゃん、すごいね。」と年長組さんに憧れの気持ちが芽生えたり、水遊びが始まる期待感をもったりしました。



幼稚園教育では、様々な年齢の幼児が生活する中で、いろいろな人の活躍を見る場面を意図的に作り、その中で相手のしていることを考えたり感じたりする機会を大切にしています。

～直接体験を通した深い学びから心を通わせる～

5歳児クラスで植えたジャガイモ、ニンジン、タマネギが大きくなっていく過程を観察したり、草引きをしたり、水やりをして育ててきました。

大きくなった野菜を収穫して大きさを比べたり、数をかぞえたりしました。何とジャガイモは1000個以上の収穫がありました。タマネギはビッグサイズでびっくり！タマネギは、友だちと協力して紐でくくり干して少しの間、保存をしました。

これらの直接体験の中には、多様な学びが含まれています。野菜がどのように育っていくのか観察する力や自分たちが責任をもって育てようとする意欲が育まれます。また、収穫後は、数・大きさ・形の違いなどに興味をもち、体験から学びを深めることができます。教師は直接体験を大切に捉え、一人ひとりの幼児に働きかけながら活動を進めています。



① ジャガイモの収穫日です。待ちに待った日がやってきました。「大きいジャガイモ見つけた！」とうれしさいっぱい。
② 「すごたくさんあるね。」園児みんながジャガイモの収穫量に驚いていました。

③収穫した野菜でカレーパーティーをしました。クッキングの様子も近くで見学しました。「いい匂い！もうお腹すいてきた！」愛先生は一工夫！さらにおいしく食べられるようにかわいいニンジンくり抜き大作戦～！



タマネギのあま〜い香り！



④カレーパーティーのフィナーレは、子どもたちが自分で好きなニンジンの形を選び、カレーにトッピングしました。「甘くておいしい!」「カレー最高!」とみんなで美味しく食べることができました。

体験から学んでいくことで友だちや先生と心を通わせながら活動することが幼児期には欠かせない経験だと考えます。

～愛ママレストランへようこそ～



たくさん収穫できたジャガイモは、愛先生こと愛ママに料理してもらい、レストランで食べました。手作りのチケットを持ってレストランへ入店!

「いい匂い!おいしそう♡」と大人気でした。たくさんおかわりしてもらい私もうれしかったです。みんなで収穫した野菜の残りは、どのように活用するか子どもたちが相談中です♡

お部屋がレストランに変身!?可愛いお客様♡

「おかわりくださ〜い」大人気のポテト♡



あいせんせいの「ほっこりタイム」より♡



ほっこりタイムの一場面より～Q&A～

Q: 周りの子どもと自分の子どもを比べてしまい心配になってくる。

A: このように感じていらっしゃる方はたくさんおられてご相談も多いです。ご自身のお子様だけでなく、周りの子どもの成長を感じられることは素晴らしいことだと思います。

まずは、幼児期の成長に着目してみましょう。幼児は、成長していく過程の中で一番重要な時期でもあります。また、成長の幅がとても大きいとイメージされるといいかしら。そのため、同じ年齢でも一人ひとりの成長には大きな差があります。また今までの経験によってもちがってきます。そして、自我が芽生え、いろいろなことに興味・関心が高まります。その興味・関心についても人それぞれです。よって、他者と比べるのではなく、幼児の成長過程であることを踏まえて、今の育ちを理解して受け止めていく、そして、将来的には、どのお子様も育っていくので、安心して自分の子どもの育ってきた過程の中で素敵な姿を見つけてみましょう。うちの子はすごい!こんなところがいい感じ♡考えられるようになった!?手伝いがうまくなった!など、たくさんの成長があるはずです。比べるのではなく、ありのままの姿を見つめよう!そして、目の前の個性豊かな子どもたちの成長を一緒に見つけましょう。

もし、比べたくなってしまったら、他者と比べないで、自分のお子様の過去の姿と今を比べてみるのもいいかもしれませんね。これからも応援していますよ!